



楽しく滑稽に踊るひょっとこ踊り

迫 ^{たけと} 武人 さん (74)

[^{しょうふくかい} 笠沙笑福会 代表]

南さつま 縁人 VOL.59

MINAMISATSUMA ENGINE

「ひょっとこ踊りで、みんなに笑顔と元気を！」

笠沙地区で迫さんが同級生の有志7人と、「ひょん」なことから結成した「笠沙笑福会」は、ひょっとこ踊りによる地域おこしに努めています。

結成のきっかけは、約10年前に開催された同窓会。実行委員だった8人が、出し物として練習を積んで披露したのがひょっとこ踊りだったそうです。実行委員の知り合いに日向ひょっとこ踊りの名人がいたことが、そもそもものきっかけだったと言います。それ以降、踊って欲しいという依頼が次第に増え、笠沙地区に限らず市内各地の集落行事や敬老会、地元歌手の前座として高齢者施設などで披露し、笑顔と元気を届けてきました。

また、昨年は農家民泊を進める地元の笠沙地区農泊推進協議



会に協力する形で、地元の荒地約500平方メートルを再生し自然薯しんじょの栽培を始めました。メンバーに農業経験者はいませんが、市外の元生産農家や地域内の農業指導員から協力をもらいながら、昨年末に約400本を収穫。数々の苦労はあったものの自然薯栽培に手応えを感じ、特産品「笠沙自然薯」として全国販売を目標に栽培を続けていくそうです。

定年まで県外で働いていた迫さんは、「地元の同級生と一緒に活動をすることが楽しい。笑いを求めて呼んでもらえれば、どこでも踊りに行く。気軽に声を掛けて欲しい」と話しました。

【笠沙笑福会】

☎090(2585)0925 迫

南さつま市に住む、働く、生き生きと活動している人を、南さつま市の輝く原動力（エンジン）としてご紹介します。



燃ゆる感動 **かごしま国体**
特別国民体育大会 熱い鼓動 風は南から



スポーツライミング 10月8日(日) ▶ 10日(火)
サッカー少年男子 10月12日(木) ▶ 16日(日)

